

あなたの声を町政に

1問1答方式で行いました。
質問時間は1人30分です。

問 二期目の町政 どう舵を取る

橋本輝久議員

答 町の発展のため 基盤整備に取り組む

Q 町長は、二期目が集大成と言われるが、町政の舵取りをどうおこなうのか。
A 町長 一期目は、特に財政健全化に取り組んできた。その成果をあげたい。不転換の決意で取り組む。また、CATV・井関団地事業など、町の発展

のため推進していく。
Q 地方公共団体といえども、企業経営団体としての意識をもつことが重要だ。
A 町長 職員は民間企業の厳しさ、心使いなど、肌で感じその経験を職務にいかしてほしい。まさにそのとおりである。しかし、現在の経

済状況では、民間企業が承諾するかが問題だ。取り組みたいが、今後の検討課題だ。
Q 医師・看護師と患者との信頼関係を築き、地域密着の医療体制を目指すべきでは。
A 町長 保健福祉の拠点として、町内開業医との連携、訪問介護・診療、在宅医

療の充実を図る。また、病院内に医療・福祉相談室を設置し、「かがやき」委員会を設け、地域に愛され信頼される病院をめざす。
Q 定額給付金は、すでに現金・振込みなどで支給が開始されている。本町では、町内消費につながる地域振興券や現金で、早急に支給すべ

きでは。
A 町長 4月中に支給できるよう準備を進めている。原則として、振込みで支給する。


まちづくり講演会

問 CATV 構想内容は

小川清治議員

答 平成23年7月開始に向け 取り組む

Q 町内情報の統一、情報格差の是正など、町の発展に欠かせない情報基盤整備事業調査設計の具体的内容は。
A 町長 公設民営方式とし、今年度は1億370万円の予算で電柱・ケーブルルート調査設計と事業申請を行う。地デジ移行に間に合うよう、事業推進を図る。

Q 農業集落法人の組織化が困難な集落への対応は。
A 町長 中山間直接支払い制度の継続を国県に対し強く要望している。未法人集落対策は極めて難しいが、営農組合や集落などでの機械共同利用のコスト削減で営農継続を図る。

Q 不審火対策の取り組みは。
A 町長 消防団を中心とした防火啓発活動など実施しているが、決め手がない。
Q 犯人逮捕に繋がる情報へ懸賞金を考えては。
A 町長 関係当局と慎重に協議し対応する。

Q 町道の維持・補修は計画的にすべきでは。
A 建設課長 町道1,467路線、延長1,130km全路線の計画は出来ない。主要路線については計画説明し公表する。
Q 長期総合計画の進捗状況は。
A 町長 長期総合計画は現在



笠岡夢ネット

2年目であり16%、新町建設計画は現在4年目であり37.5%の進捗状況である。

問 バイオマスタウン どう取り組む

寄定秀幸議員

答 早く準備をしたい

Q 地球温暖化防止策として、CO2(二酸化炭素)削減に向け世界各国は大きく舵を切った。
A 町長 神石高原町版ニューデール政策として、本町の豊かな資源を活かし、木質バイオマス発電、木質チップボイラー、ペレットストーブなどへ取り組み、雇用の創出と森林資源の有効活用、自然環境への貢献など多くのメリットがある。総合的に取り組む。

Q ロジエクトチームを編成し、「バイオマスタウン構想」に積極的に取り組むべきでは。
A 町長 中山間地域の多くの資源の有効利用になるように、太陽光発電や畜産廃棄物のメタンガス化、木材などのペレット燃料など、可能性のある事業だが、未確定の部分も多くこれからの取り組みだと思ふ。
Q 森林資源を活かした、ペレットストーブには大

変興味がある。「バイオマスタウン構想」には賛成だ。早く、広島県で3番目の手を挙げる準備をしたい。
Q 国の第二次補正予算に対する考え方と本町の取り組みは。
A 町長 世界同時不況を打破するため、世界が同時に経済活動をしており、日本は遅れをとっていると認識している。
Q 75兆円の緊急経済対策の第2弾として総額



木質チップボイラー

4兆8,000億円の第二次補正予算が成立したことは高く評価できる。定額給付金は、一日も早く支給したい。それ以外の補正予算に対しても、対応できるものは積極的に対応したい。

問 小規模農家の活性化対策を

丸山達夫議員

答 町独自の支援を検討

Q 小規模零細農家は独自に販路の開拓も出ず、直販所を頼りにしている。高齢化もすすみ減少の一方である。
A 町長 農業の活性化には、法人化の推進、大型事業の実施も必要であるが、手数料の割り戻し的な「直販所運営協力金」などの方法で、出荷量の減少防止を含めた対策をすべきでは。

Q ケーブルテレビの、アンテナ結果と、設置に向けての考えは。
A 町長 68.6%の回収率で、総論では、財政状況を勘



油木百彩館

案して設置する希望を含めると76%であり多数と判断している。設置については、維持管理費用も含め事業・設置経費も必要最小限に押える。高齢者・低所得者に配慮した対応をする。

アンケート調査

Q9-1 「地域情報化基盤整備」に取り組むことをどのように思われますか。

番号	内容	件数	割合
0	未記入	107	3.9%
1	優先して取り組むべき。	799	29.3%
2	取り組むべきだが財政状況をみながら。	1,261	46.3%
3	取り組む必要はない。	168	6.2%
4	わからない。	368	13.5%
5	その他	23	0.8%